

# 令和4年度 福井県立高志高等学校・中学校キャリア教育 全体計画

<b>校 訓</b>	<b>教育方針</b>	<b>生徒の実態</b>
<b>克己</b> 自律できる力 <b>創造</b> 問題を解決できる力 <b>敬愛</b> 他者を理解し尊重する力	国際社会および地域社会のリーダーとして貢献できる知徳体の調和のとれた人材の育成 1 責任を重んじ、克己心の強い人間の育成 2 真理探究の精神と創造性豊かな人間の育成 3 人間相互の信頼を重んじ、敬愛し合える人間性の育成 4 健康でたくましい心身と心情豊かな人間の育成 5 良き伝統や文化を理解し尊重する態度の育成	・生徒全員が国公立大学を中心とする大学進学を希望している。 ・多くの生徒が部活動に加入し、教科学習との両立を図っている。 ・真面目であるが、積極性に欠ける面が見られる。
		<b>求める生徒像</b>
		・学習や部活動、その他の活動等をやり抜くことができる生徒 ・自分で決めたことを粘り強く続けることができる生徒 ・好奇心が強い生徒、読書が好きな生徒、質問ができる生徒 ・思うだけでなく、行動に結びつけることができる生徒 ・相手を尊重できる生徒 ・自分の考えを発信できる生徒

教育目標	
中学校	高 校
1 地域社会、国際社会のリーダーとなる高い学力と豊かな人間性の育成に努める。 2 ふるさと福井への深い知識と大きな誇りの涵養に努める。 3 世界に通用する語学力と国際感覚の育成に努める。	1 主体的な学習態度を育て、確かな学力の向上と豊かな教養の育成に努める。 2 生徒一人ひとりの進路実現に向け、丁寧できめ細やかな進路指導に努める。 3 規範意識を高める生徒指導の一層の充実に努める。 4 特別活動を通して、心身ともに健康で活力に満ちた学校生活の推進に努める。 5 学校行事全体を通して、主体的な行動力と豊かな情操の涵養に努める。 6 家庭、地域との連携を密にして、開かれた学校づくりに努める。

キャリア教育の全体目標
将来の社会的・職業的自立に向け、望ましい勤労観・職業観を身につけたうえで、主体的に自己の進路を選択し、その実現に向けて懸命に努力できる生徒の育成

育成すべき力(基礎的・汎用的能力)			
人間関係形成・ 社会形成能力	自己理解・ 自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
学校行事やホームルーム活動、部活動などを通じて、相互理解を図るとともに、協力して物事に取り組む意識・態度を養う。	大学や企業との連携事業による啓発的な体験を通じて、自己の適性等を知り、主体的に行動し、自ら進んで学ぼうとする力を育成する。	課題研究などの取組みを通じて、課題の本質を理解し、その課題を解決することができる力を育成する。	「大学のその先にある社会」を認識し、将来の職業を意識して、計画的・主体的に学ぶ意欲や態度を育成する。

各学年の到達目標					
中学校			高 校		
第1学年	第2学年	第3学年	第1学年	第2学年	第3学年
新しい環境のもとで自分の役割を理解し、他者を尊重する力を養い、有益な人間関係を構築することができる。	職場体験等を通じて様々な職業を知るとともに、それぞれの社会的役割や意義を理解することができる。	国際的な視点を身につけるとともに、社会問題に目を向け、自分がどのような形で社会貢献できるか、自分の将来像を描くことができる。	自己理解を深め、自分の進路を意識しながら、その適性に合わせて文系・理系の選択をすることができる。	大学卒業後の自分を見据え、学部・学科およびその研究内容に対する理解を深め、自分の行きたい大学を選択することができる。	自己の進路希望を明確にし、その実現のために努力することができる。

各教科の取組み	探究活動	特別活動
・課題対応能力を養成するために、授業の中で考えさせる時間や課題等を盛り込む工夫をすするとともに、そのための授業研究に努める。 ・答えのない問題に対して、粘り強く論理的に考え、解決策を見出す力の育成に努める。	・あくなき探究心と課題解決能力を備え、福井から世界をリードする人材の育成に努める。	・計画的・系統的に物事を進めることができる力の育成に努める。 ・集団の一員としての自覚を持ち、集団の中での自分の役割や責任を遂行することができる力の育成に努める。 ・集団を支える組織や役割を理解する力の育成に努める。